



# 小田原男声合唱団 第47回定期演奏会

— 第65回小田原市民文化祭参加 —



柳河(現福岡県柳川市)は北原白秋が生まれ育った町です。最終ステージの「柳河風俗詩」の3曲目「かきつばた」は、街の中を縦横に流れる「溝渠(ほりわり)」の情景を詠ったものであり、「溝渠」を巡る川下りコースの椋島菖蒲園では菖蒲やかきつばたを楽しむことができます。

2018年12月1日(土)  
午後1時15分開場 2時開演  
小田原市民会館 大ホール

後援

日本男声合唱協会 (JAMCA)  
神奈川男声合唱協会 (KAMCA)  
湘南合唱連盟  
小田原地区合唱連盟



## ＜ ぐ 挨拶 ＞

### 小田原男声合唱団

団長

齋藤 恵司(さいとう けいじ)



本日は、私たち小田原男声合唱団の第47回定期演奏会にお越しいただき、本当に有難うございます。

今年の小田原の活動では、5月に「みなとみらいホール」9月には「ミュージーザ川崎」と、神奈川県を代表する大きなホールでの演奏がありました。

5月は『KAMCA(神奈川男声合唱協会)第15回演奏会』でした。この際には加盟10団体とゲスト2団体での単独演奏と合同演奏。そして9月は、小田原の常任指揮者である辻秀幸先生の還暦をお祝いする『還暦祭り』と銘をうった演奏会で、秀幸先生が指導されている合唱団から10団体が単独演奏、そして370名による合同演奏を行いました。2つの大きな素晴らしいホールを体験し、つくづく「小田原の新しいホールが早く完成してほしい！」と感じました。ちなみに現在の予定では新ホールの完成は2021年とのこと。奇しくも小田原創立50周年の年になります。

第50回記念演奏会を新しいホールで開催できることを心から願っています。

さて、今年の演奏会での演奏曲「柳河風俗詩」について曲目解説にもありますが少し説明を加えさせていただきます。今回この曲を取り上げた経緯ですが、1つ目は作詩者の北原白秋に関する事です。

白秋が小田原に移り住んだのが1918年でした。今年は、それから100年という節目の年にあたります。小田原市でもそれを記念した事業等も多く企画されています。8月には、北原白秋の生涯を映画化した「この道」の完成報告会が小田原市民会館で行われ、由紀さおりさんの講演等の際に小田原も「この道」の演奏に参加しました。2つ目は作曲者の多田武彦先生に關してです。すでにご存知の方も多しとは思いますが、多田先生は昨年の12月にご逝去されました。小田原にとっては非常に関わりの深い先生でした。

多田先生には男声合唱組曲を4つ委嘱して作曲していただきました。この中でも第30回定演で初演した「西湘の風雅」は小田原の十八番にもなる名曲です。また客演指揮者として、この市民会館でも指揮をしていただきました。この「柳河風俗詩」は多田先生の初期の作品ですが、男声合唱の名曲として愛されている作品です。多田先生のご恩に報いる意味も込めて演奏したいと思えます。

最後になりましたが、私たちの活動を支えていただく多くの方に感謝し心からお礼申し上げます。

それでは、本日の私たちの演奏をお楽しみ下さい。

# ＜プログラム＞

## I ミサ曲 第2番 より

シャルル・グノー 作曲

Kyrie  
Gloria  
Credo  
Sanctus  
O salutaris hostia  
Agnus Dei

(あわれみの賛歌)  
(栄光の賛歌)  
(信仰宣言)  
(感謝の賛歌)  
(救いなるいけにえ)  
(平和の賛歌)

指揮  
オルガン

辻 秀幸  
中根 希子

## II 男声合唱による「日本抒情歌曲集」より

林 光 編曲

叱られて  
椰子の実  
浜辺の歌

清水 かつら 作詩  
島崎 藤村 作詩  
林 古溪 作詩

弘田 龍太郎 作曲  
大中 寅二 作曲  
成田 為三 作曲

指揮  
独唱  
ピアノ

村田 雅之  
杉山 範雄  
中根 希子

(「浜辺の歌」は会場の皆さんとご一緒に)

休

憩

## III 暗くて泣きたくなる男声合唱曲集「神田川」

石若 雅弥 編曲

神田川  
学生街の喫茶店  
五番街のマリーへ  
22才の別れ  
遠くへ行きたい

喜多条 忠 作詞  
山上 路夫 作詞  
阿久 悠 作詞  
伊勢 正三 作詞  
永 六輔 作詞

南 こうせつ 作曲  
すぎやまこういち 作曲  
都倉 俊一 作曲  
伊勢 正三 作曲  
中村 八大 作曲

指揮  
ピアノ

村田 雅之  
中根 希子

## IV 男声合唱組曲「柳河風俗詩」

北原 白秋 作詩 多田 武彦 作曲

～多田武彦先生を偲んで ワンステージ メンバー と共に～

柳河  
紺屋のおろく  
かきつばた  
梅雨の晴れ間

指揮

辻 秀幸

## I ミサ曲 第2番

シャルル・フランソワ・グノー(1818～1893)はフランス生れの作曲家で、主に声楽曲で知られ、旋律の美しさが作風の大きな特徴と言えます。多くのオペラや宗教音楽を作り、フランス音楽のもっとも偉大な作曲家の一人です。日本ではオペラ「ファウスト」、オペラ「ロメオとジュリエット」、「アヴェ・マリア」(平均律クラヴィーア曲集の前奏曲に旋律を付けた)がよく知られています。

第2ミサは彼が28歳の頃にまず「Missa brevis と 0 saltaris」を作り、その後36歳の頃に全曲を完成させたと言われる男声合唱とオルガンによる比較的小規模のミサ曲です。この曲を作曲しようとした当時、グノーは留学していたローマからパリに戻り、サン・トゥスタッシュ教会の聖歌隊指揮者兼オルガニストを務めて、聖職者になることを目指していたと言われます。またこの教会に、画家で有名なルノワールが聖歌隊の一員として所属していました。

グノーは1870年から、普仏戦争の戦火を避けてイングラドに5年間過ごしましたが、この頃からグノーの作

## シャルル・グノー 作曲

品の多くが実質的に声楽曲や合唱曲になりました。曲は、ミサ通常文に基づく6つの曲と、最後に Domine salvam (神よ救い給え)が作られています。この Domine salvam はフランスの教会独特の祈りのようですが、今回は演奏致しません。また6番目の Agnus Dei は日本では単独の男声合唱としても広く歌われています。曲の旋律はシンプルで美しく、歌詞の各所でグノーの信仰心がうかがわれます。

Gloria, Credo, 0 saltaris hostia には、重唱が指定されている部分がありますが、今回は重唱にせずに合唱で同じような効果が出るように演奏します。

小田原男声合唱団では、第1回定期演奏会(1972年)と第33回定期演奏会(2004年)に、この曲を演奏しています。

( B2 柳田圭一 )

## II 男声合唱による「日本抒情歌曲集」より

### 林 光 編曲

編曲した作曲家林光が『男声合唱による日本抒情歌曲集』の楽譜に、その経緯について次のように記している。「滝廉太郎や、山田耕筰にはじまる近代歌曲の歴史のなかで、人々に愛唱されている名曲をえらんで、合唱曲にしたものです。1964年から1975年にかけて東京混声合唱団の求めに書いたもので、小澤征爾、岩城宏之、田中信昭氏によって初演されました。合唱曲の技巧をこらすよりも、愛唱歌を口ずさむ楽しさを心がけたものです(略)」『男声合唱による日本抒情歌曲集』には、【箱根八里】をはじめ12曲が収められています。本日は、その中から3曲を演奏します。

#### 1. 叱られた

作詩の清水かつらは、本名は桂と言ひ、明治30年7月1日、東京本所小名木(現在の深川)に生まれる。京華商業学校予科を卒業後、鹿島鳴秋が経営する小学新報社で雑誌『少女号』『小学画報』の編集、発刊に従事し、自らも執筆、創作活動をしていた。「叱られて」は、『少女号』に発表された詩である。関東大震災の年、父親に先立たれ、震災で家屋、家財を凡て消失している。苦難を乗り越え、逆に詩人の眼は苦しい境遇にある子供たちに對し優しい眼差しを持った童謡を生み出したのであろう。

#### 2. 椰子の実

「椰子の実」は、昭和11年(1936年)にNHKで始まった『国民歌謡』のために作曲された曲です。当時の日本は、世界恐慌の影響などにより失業者が増大し、海外移住が盛んであった。しかし、移住の範囲が制限された時代でもあった。作曲者の大中寅二は、無名な作曲家であったが「椰子の実」によって、一躍脚光を浴びるようになった。「いずれの日にか国に帰らん」は、当時の厳しい世界情勢の中で、海外生活者の一葉の願いであったのだろう。

#### 3. 浜辺の歌

作詩の林古溪の父親は、藤沢市の教師として赴任している。そこで6歳まで過ごし、詩になった浜辺は湘南海岸の思い出とも言われている。「浜辺の歌」の詩は、雑誌『音楽』に「はまべ」の題名で発表され、大正5年東京音楽学校師範科の作曲課題となり、山田耕筰に作曲を学んでいた成田為三の曲が作品として選ばれた。その時、曲名は「浜辺の歌」とされ、現在に至っている。「浜辺の歌」は、外国のステージで英語の歌詞でよく歌われると聞いている。

( B1 伊東清邦 )

## 皿暗くて泣きたくなる男声合唱曲集「神田川」 石若 雅弥 編曲

若い世代の石若雅弥編曲「神田川」の演奏機会を得た。1981年生まれ、これまでに多数の合唱団や演奏家と交流し委嘱作品も数多く、合唱曲・歌曲・器楽作品・市歌・愛唱歌・校歌等、広く精力的な作曲活動を続けている。出版楽譜は40を越えおり、作曲の傍ら複数の合唱団の指揮・指導もしている。

### 1. 神田川

1970年代初頭の日本では、安保闘争・学生運動の熱が少しずつ冷めていく中、一部の若者達の間では得も言われぬ挫折感が漂い始めていた。そんな時代にこの神田川が生まれた。70年のデビュー以来、ヒット曲に恵まれなかつた南は、かぐや姫の3rdアルバム制作にあたり、文化放送で作家をしていた喜多条に作詞を依頼「締め切りは今日なんだけど…」。急な依頼で何も浮かばなく、その日の帰宅途中、神田川沿いを歩きながら…ふと数年前のことを思い出す。新聞紙の折り込みチラシの裏に自らの学生時代のほろ苦い思い出を綴り、電話口で伝えたところ、南はメモリながらメロディが浮かんできたという。かぐや姫にとつては最大のミリオンセラーとなった。

### 2. 学生街の喫茶店

1972年リリース。GAROの3枚目のシングル。7週連続のオリコン1位であった。喫茶店に一緒に来て、お茶を飲みながら色々な話をしたあの頃。一緒に来ていた当時の歌はもう聴こえず、人の姿も変わってしまった。共

に過ごした頃は、それが愛だとは知ることもなく別れてしまった後悔のようなやなやなさを歌っている。紅白にフォークが出場となる。

### 3. 五番街のマリーへ

1973年ペドロ&カプリシャス5枚目のシングル。ロングヒットであり、発売から42年経過の2015年紅白でも高橋真梨子がカヴァーし持ち歌となっている。どこか日本人離れした感覚を持つ歌詞、ごくありふれた日常会話を引き立てるメロディは新鮮で、当時の関係者は無国籍ソングと称したという。

### 4. 22才の別れ

1974年かぐや姫のメンバー・伊勢正三の2作目。その年かぐや姫は解散、1975年伊勢は風を結成し、デビューシングルとした。5年間恋人として過ごしてきた彼へ、さよならを告げる女性の心が歌われている。1作目のなごり雪は同じ事務所のアイルカが歌い、共にヒットした珠玉の名作文芸作品といえよう。

### 5. 遠くへ行きたい

1962年NHK総合テレビ〔夢であいまいしょう〕の今月の歌として創られ、ジェリー・藤尾が歌ったもの。1970年10月にスタートした旅番組〔遠くへ行きたい〕のテーマ曲としても使われる。数多くの歌手によりカヴァーされてきている。

( T2 青野幸夫 )

## IV 男声合唱組曲「柳河風俗詩」

男声合唱組曲『柳河風俗詩』は、詩人北原白秋の第二詩集『抒情小曲集』思ひ出』(明44.6東雲堂書店)から4篇の詩が選ばれ、作曲家多田武彦先生の最初の男声合唱組曲として発表されたものである。初演は昭和30年(1956)12月、多田武彦先生の母校、京都大学男声合唱団であった。以来、男声合唱組曲の名曲として、全国の男声合唱団に歌い継がれている。

第二詩集『抒情小曲集』思ひ出』は、故郷「柳河」の大火後に家族離散を経験した白秋の心に焼きついた「思ひ出」を集めたものである。詩集出版後、北原白秋は筋肉炎手術の転地療養の必要から、小田原にあった養生館に短い期間滞在している。その時の印象が大正7年以降8年間の小田原定住に繋がったのだろう。詩集と小田原の意外な接点を垣間見ることになる。

### 1. 柳河

「もうし、もうし、柳河じや」という冒頭の詩句は、白秋が上京3年後(明40年)、柳河に招いた新詩社(雑誌『明星』刊行)の同人与謝野寛、木下杢太郎、吉井勇、平野萬里に「ここは私の柳河です」と語った言葉なのだろう。変貌した現実の風景と思ひ出を重ねながら…。

### 2. 紺屋のおろく

白秋が育った沖ノ端は漁師町であり「おろく」の存在は、若者の関心の的だったのであろう。「にくらいん畜生」「瀧(がた)に陥(はま)つて死ねばよい」と若者達の囃し立てる言葉は、反語として抑えるべきものでしょう。

### 3. かきつばた

かきつばたは、古くから「かきつばたのように美しい」と使われ、美しい意の「につらふ」の枕詞とし、その用例は万葉集に遡ると言われる。溝渠(ほりわりの)水際に咲くかきつばたの風夜の描写は、白秋の心に深く刻まれた「柳河」の心象風景なのでしよう。

### 4. 梅雨の晴れ間

祭りの賑わいが思い浮かぶような詩ではないだろうか。梅雨の晴れ間に慌ただしく準備をし、興行の成功を願う人々の熱気が詩句の端々から感じられないだろうか。「柳河」の祭りは、白秋の幼い日々の楽しい記憶の忘れられない風景だったのでしよう。

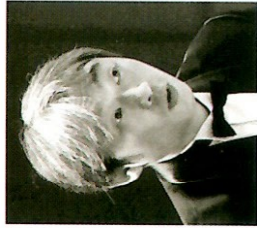
( B1 伊東清邦 )

## 常任指揮者 辻 秀幸



東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科修了。1985年イタリアミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。1986年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。その後、欧州数都市でペーターヴェン「第九」のソリストを務め、各地でコンサートに出演し好評を博す。オペラでは古典から現代に至るまで、数多くの作品に出演し、その優れた演技力と歌唱力は、新聞・音楽誌上度々絶賛された。特に宗教音楽の演奏家としての活躍は目覚ましく、バッハ、ヘンデル、ハイ든等の宗教

曲・オラトリオの演奏ではソリスト・エヴァンゲリスト、指揮者として、その活動は常に注目を集めている。指導に当たっているアマチュア合唱団は15を数えている。洗足学園音楽大学講師、東京藝術大学講師、日本合唱指揮者協会副理事長、東京都合唱連盟副理事長、日本演奏家連盟会員、全日本合唱連盟季刊誌「ハーモニー」編集委員・[ヒデさんは観た！]を連載中。合唱講習会講師、合唱コンクール審査員、NHK全国学校音楽コンクール審査員、全日本合唱コンクール全国大会審査員を務める。2016年、当団の常任指揮者に就任する。



## 指揮者 村田 雅之

石川県出身。中学時代より吹奏楽で指揮者、合唱部でピアノを務める。石川県立金沢泉丘高等学校理科を経て、横浜国立大学工学部を卒業。在学中はグリークラブに籍を置き、1年次より学生ピアノリスト、3年次からは学生指揮者を務める。在学中より、多くの一般合唱団や講習会に参加、合唱全般の研修を積み栗山文昭、松下耕、伊東恵司の各氏から影響を強く受ける。

音楽関連会社に勤務の傍ら、なにわコラリアーズ、合唱団お江戸コラリアーズ(全日本合唱コンクール全国大会)、同声合唱の部、金賞・最優秀団体・文部科学大臣賞・シード合唱団)に於いては、歌い手の他、指揮、ピアノ、打楽器を担当する。横浜国立大学グリークラブ、立正大学グリークラブ、男声合唱団 東鶴(あずまつる)、Kiyohachi Bravo'sなどの合唱団に於いて指揮、ピアノ、アンサンブルトレーナーを務める。

2014年トレーナーとして、小田男で指揮・ピアノを担当する。2016年、指揮者に就任する。



## ピアノ・オルガン 中根 希子

小田原市出身。平塚江南高等学校を経て東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。第3回長江国際音楽コンクール第2位他多数入賞。ウイーン、シカゴ等での音楽セミナー・マスタークラス参加、ディプロマ取得、終了演奏会に出演。1999年ポーランド共和国大使館後援「日本ポーランド国交樹立80周年記念及び国際シヨパン記念演奏会」に出演。2007年以降、毎年開催の“市民による小田原音楽フェスティバル”では、小林研

一郎・末廣誠・広上淳一・富澤裕・山田和樹・黒岩英臣・佐藤眞の各氏指揮のもと、第九・モーツァルトレクイエム・ドイトレクイエム・メサイア等の演奏会でピアノアシスタントを務める。2009年ウィーンフィルメンバー・シユトイデ弦楽四重奏団と共演する。2012年、小田原でのソロリサイタルを開催、生誕150年を記念しドビュッシー、リストを演奏し、大好評を博し聴衆を魅了した。2013年、豊嶋泰嗣ヴァイオリンコンサートにおいてピアノを、2014年には小田原フィルハーモニー管弦楽団と共演。2015年小田原でのソロリサイタルを開催、いづれも好評を博す。



## ヴォイストレーナー 杉山 範雄

小田原少年少女合唱隊に入隊。ルネッサンスから現代まで多くのアカペラ・アンサンブルを学ぶ。湘南工科大学附属高等学校、東京藝術大学音楽部声楽科を経て、これまでに、「コシ・ファン・トゥッテ」ドン・アルフォンソ、「魔笛」ザラストロ、「カルメン」エスメリーヨ、等々を演じ、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ペーターヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」等、演奏会・バスソロにて多数出演、小泉ひろし・小林研

一郎・飯森範親等、各指揮者のもとソリストを務める。また、合唱指導等にも意欲的に取り組み、合唱祭の講師等を務める。東京、神奈川を中心に、コーロ・するふれい、金沢混声合唱団、In Pace、栄女声合唱団、ぶどうの会、鎌倉市民混声合唱団、北鎌倉女声合唱団、アンサンブルル萌、コーロ・フォルスタ、秦野混声合唱団等の常任指揮者を務める。明治大学グリークラブ、小田原男声合唱団、横浜混声合唱団、中央区プリエール・ジュニア・コーラス等の歌唱指導に取り組み、

杉友会優しい合唱講座講師。神奈川県合唱連盟理事。

# ＜ 2018年～2019年主な事業等 ＞

2018年

- |           |                                      |                            |
|-----------|--------------------------------------|----------------------------|
| 2.10 (土)  | 総会                                   | 小田原市民会館大ホール                |
| 3.18 (日)  | 市民による『戴冠ミサ』演奏会(有志参加)                 |                            |
| 5. 3 (木)  | KAMCA神奈川男声合唱協会創立25周年記念<br>第15回 定期演奏会 | 小田原市民会館大ホール                |
| 6. 3 (日)  | 第67回 湘南合唱祭                           | 横浜みなとみらいホール 大ホール           |
| 8.22 (水)  | 映画「この道」を歩む夕べ<br>由紀さおり トークイベント        | 厚本市文化会館 大ホール               |
| 9. 2 (日)  | 「美しい日本語の歌を伝えたい」賛助出演                  | 小田原市民会館大ホール                |
| 10. 7 (日) | 辻 秀幸先生 遺暦記念演奏会                       | ニューザ川崎コンサートホール             |
| 12. 1 (土) | 第52回 小田原市民合唱祭<br>第47回 定期演奏会          | 小田原市民会館大ホール<br>小田原市民会館大ホール |

2019年(予定)

- |           |                       |                |
|-----------|-----------------------|----------------|
| 2. 16 (土) | 総会                    | 小田原市民会館大ホール    |
| 3. 17 (日) | 市民による『第九』演奏会(有志参加)    | 熊本県立劇場コンサートホール |
| 4. 7 (日)  | JAMCA 日本男声合唱協会 熊本演奏会  | 小田原市民会館大ホール    |
| 9. 29 (土) | 石井 歡 先生 没後10周年記念コンサート | 小田原市民会館大ホール    |
| 10. 6 (日) | 第53回 小田原市民合唱祭         | 小田原市民会館大ホール    |
| 11.30 (土) | 第48回 定期演奏会            | 小田原市民会館大ホール    |

## 合唱団員募集

### ♪ 男声合唱の魅力に酔いましょう♪

年齢・お住まいを問わず、歌うことが好きな方、未経験の方も、小田原男声合唱団の一員として、男声合唱の魅力に酔いましょう。

貴方が仲間と一緒に創る、重厚でしびれるような男声合唱のハーモニーは、必ずや貴方を虜(とりこ)にするでしょう。あなたの参加をお待ちしております。

練習日時：毎週火曜日 18:30～20:50 月1回日曜日 13:00～17:00

練習会場：旭丘高校音楽室(小田原駅より徒歩7分) 未経験の方のために練習用音源を用意します。

会 費：月額4,500円(大学生は半額、高校生は免除)

連絡先：河田 一男 電話0557(47)3274 杉本 健二 電話0465(73)0037

ホームページ：<http://odadan.org/> (小田原男声で検索してください)

## ワンステージダンパー募集

### ♪ 2019年11月30日(土)予定の第48回定期演奏会で、一緒に歌いましょう♪

年齢：高校生～80歳代と、年齢制限はありません。初めての方でも大丈夫です。

練習日：火曜日 18:30～20:50 6月より1～2回/月(計15回程度を予定)

練習会場：旭丘高校音楽室(小田原駅より徒歩7分) 未経験の方のために練習用音源を用意します。

曲 目：男声合唱組曲(邦人作品を予定)

参加費用：検討中(月会費はなし) 楽譜代は実費です。

連絡先：河田 一男 電話0557(47)3274 杉本 健二 電話0465(73)0037

ホームページ：<http://odadan.org/> (小田原男声で検索してください)

# Members 2018

## 小田原男声合唱団

T1 加藤重喜 (秦野市)  
 河田一男 (伊東市)  
 斎藤恵司 (伊勢原市)  
 露木聰 (小田原市)  
 西山廣木代 (二宮町)  
 堀内哲夫 (小田原市)  
 松田直隆 (山北町)  
 水城高嶺 (秦野市)  
 渡辺功 (茅ヶ崎市)

T2 青野幸夫 (秦野市)  
 佐藤精孝 (二宮町)  
 白石久司 (開成町)  
 杉本健二 (南足柄市)  
 高瀬昇次 (小田原市)  
 福井隆 (二宮町)  
 李中勉 (秦野市)

B1 伊東岩越 (秦野市)  
 江川江川 (小田原市)  
 大塚大塚 (小田原市)  
 岡部仁之助 (秦野市)  
 加藤和信 (小田原市)  
 菊池義彦 (小田原市)  
 下村興毅 (小田原市)  
 高橋茂樹 (小田原市)  
 中村敬 (南足柄市)  
 西山隆行 (秦野市)  
 湯川裕光 (小田原市)  
 横山茂 (千葉市)

B2 一色義信 (秦野市)  
 磯田幸男 (小田原市)  
 遠藤要 (小田原市)  
 笠原紘 (小田原市)  
 古林源次郎 (二宮町)  
 坂口宗夫 (小田原市)  
 佐々木秀昭 (秦野市)  
 鈴木壽久 (南足柄市)  
 田島達也 (南足柄市)  
 千葉陽一郎 (海老名市)  
 廣瀬友二 (秦野市)  
 柳田圭一 (湯河原町)

## ワンステージメンバー

T1 石井蔵之介 (鎌倉市)  
 加藤哲雄 (小田原市)  
 高桑邦安 (横須賀市)  
 高山光正 (大磯町)  
 中島弘光 (南足柄市)  
 中村廣 (大磯町)

T2 坂口新治 (南足柄市)  
 関野文男 (南足柄市)  
 田山正弘 (伊東市)  
 坪井孝士 (南足柄市)

B1 青野正純 (小田原市)  
 安藤善克 (伊勢原市)  
 小西正文 (茅ヶ崎市)  
 土居依男 (海老名市)

B2 芥河律 (厚木市)  
 福士正勝 (南足柄市)  
 吉田秀樹 (藤沢市)

名誉指揮者  
 外山 浩爾

常任指揮者  
 辻 秀幸

指揮者  
 村田 雅之

ピアノ・オルガン  
 中根 希子

ヴォイス  
 トレーナー  
 杉山 範雄

## 運営スタッフ

団長 恵司  
 副団長 一男  
 事務局 健二  
 技術部長 隆

高藤河田 (男)  
 杉本 (二)  
 福井 (隆)

財政部長 友二  
 事業部長 直隆  
 団員部長 昇次

廣瀬松田 (女)  
 高瀬 (直隆)  
 昇次

渉外部長 一男  
 情報部長 要昭  
 財政監査 功

河田遠藤 (男)  
 佐々木 (要昭)  
 渡辺 (功)

JAMCA  
 KAMCA

杉本 (健二)  
 河田 (一男)

## 定演プロジェクト

松田直隆  
 水城高嶺  
 河田一男  
 伊東清邦  
 千葉陽一郎  
 柳田圭一  
 廣瀬友二

桃井真也  
 上利宏司  
 柏木晶子  
 南エコーラス  
 市レベア・ヨニスト様

T1 堀内哲夫  
 T2 福井隆  
 B1 加藤和信  
 B2 一色義信

T1 渡辺功  
 T2 高瀬昇次  
 B1 中村敬  
 B2 鈴木壽久

舞台  
 録音  
 譜捲り  
 受付・案内

**Kyrie**

Kyrie eleison.

Christe eleison.

Kyrie eleison.

キリエ (あわれみの賛歌)

主よ、憐れみたまえ。

キリストよ、憐れみたまえ。

主よ、憐れみたまえ。

**Gloria**

Gloria in excelsis Deo.

Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

Laudamus te, benedicimus te,

adoramus te, glorificamus te.

Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.

Domine Deus, Rex coelestis, Deus Pater omnipotens,

Domine Fili unigenite, Jesu Christe.

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.

グロリーア (栄光の賛歌)

天のいと高きところに、神の栄光がありますように。

そして地上では、善き人に平和がありますように。

私たちはあなたを誉め、あなたを祝福し、

あなたを拝し、あなたをあがめます。

あなたの大いなる栄光のゆえに、あなたに感謝を捧げます。

主なる神よ、天の王よ、全能の父なる神よ。

唯一のみ子である、主イエス・キリストよ。

主なる神よ、神の子羊よ、父のみ子よ。

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.

Qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram.

Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.

世の罪を取り除いてくださる方よ、私たちを憐れみたまえ。

世の罪を取り除いてくださる方よ、私たちの願いを聞きたまえ。

父の右に座しておられる方よ、私たちを憐れみたまえ。

Quoniam tu solus Sanctus, tu solus Dominus,  
tu solus Altissimus,

Jesu Christe.

Cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris.

Amen.

あなただけが聖なる方であり、あなただけが主です。

あなただけがいと高き方からです。

主イエス・キリストよ。

聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。

アーメン。

**Credo**

Credo in unum Deum,

Patrem omnipotentem, factorem coeli et terrae,

visibilem omnium, et invisibilem.

Et in unum Dominum Jesum Christum,

Filium Dei unigenitum.

Et ex Patre natum ante omnia saecula.

Deum de Deo, lumen de lumine,

Deum verum de Deo vero. Genitum, non factum,

consubstantialem Patri: per quem omnia facta sunt.

Qui propter nos homines, et propter nostram salutem

descendit de caelis.

Et incarnatus est de Spiritu Sancto ex Maria Virgine:

Et homo factus est.

私は唯一の神を信じます。

全能の父や、天と地や、

見えるもの全てと、そして見えないものの造り主を。

そして、唯一なる主イエス・キリストを。

すなわち、神の唯一のみ子であり、

そして、この世のすべてのものよりも前に父から生まれた方を。

神から出た神であり、光から出た光であり、

真の神からの真の神を、造られることなく生まれ出て、

父と一体である方によって、その方によって万物が造られた。

その方は、われら人間のために、そしてわれらを救うために、

天から降りて来られました。

そして、聖霊により処女マリアから肉体を受け、

そして、人間となりました。

Crucifixus etiam pro nobis: sub Pontio Pilato passus  
et sepultus est.

Et resurrexit tertia die, secundum Scripturas.

Et ascendit in coelum: sedet ad dexteram Patris.

Et iterum venturus est cum gloria, iudicare vivos et  
mortuos: cuius regni non erit finis.

Et in Spiritum Sanctum, Dominum, et vivificantem:

qui ex Patre Filioque procedit.

Qui cum Patre et Filio simul adoratur, et conglorificatur:  
qui locutus est per Prophetas.

Et unam sanctam catholicam et apostolicam Ecclesiam.

Confiteor unum baptismam in remissionem peccatorum.

Et expecto resurrectionem mortuorum.

Et vitam venturi saeculi.

Amen.

### Sanctus

Sanctus, Sanctus,

Sanctus Dominus Deus Sabaoth.

Pleni sunt coeli et terra gloria tua.

Hosanna in excelsis.

### O salutaris hostia

O salutaris hostia, quae coeli pandis ostium:

Bella premunt hostilia, da robur, fer auxilium.

### Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
miserere nobis.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
dona nobis pacem.

われらのために、ポンティオ・ピラトのもとで十字架にかけられ、そして受難し葬られました。

そして聖書にあるように、三日目によみがえり、

そして天に昇られ、父なる神の右に座りました

そして再び栄光とともにこの世に来て、生きている者と死んでい  
る者とを裁きます。その王国には終わりがありません。

私はまた、主なる聖霊、即ち生命を与えて下さる方を信じます。

その聖霊は父とみ子から出て

父とみ子と同じように拝まれ、あがめられて居る方を。

預言者を通じて語られて居る方を。

そして、唯一にして聖なる公の使途を継承する教会を信じます。

わたしは罪の赦しとなる洗礼を認めます。

そして死者の復活を待ち望みます。

そして来世の命を待ち望みます。

アーメン。

### サントクトゥス (感謝の賛歌)

聖なるかな、聖なるかな、

聖なるかな、万軍の神なる主は。

天と地はあなたの栄光に満ちています。

いと高きところに、オザンナ。

### オー サルタリス オステイア (救いなるいけにえよ)

おお、救いなる生贄よ、天の扉をあげ放つ方よ。

敵が戦いを挑んできます。われらに力と助けを与えたまえ。

### アニユス デイ (平和の賛歌)

世の罪を取り除いて下さる神の子羊よ、

私たちを憐れんで下さい。

世の罪を取り除いて下さる神の子羊よ、

私たちに平安をお授け下さい。

## 第Ⅱステージ 男声合唱による日本抒情歌曲集

叱られて 清水 かつら 作詩

叱られて  
叱られて  
あの子は町まで お使いに  
この子は坊やを ねんねしな  
夕べさみしい 村はずれ  
こんときつねが なきやせぬか

叱られて  
叱られて  
日には出さねど 目になみだ  
二人のお里は あの山を  
超えてあなたの 花のむら  
ほんに花見は いつのこと

椰子の実 島崎 藤村 作詩

名も知らぬ 遠き島より  
流れ寄る 椰子の実ひとつ  
故郷の 岸を離れて  
汝はそも 波に幾月

旧の樹は 生いや残れる  
枝はなお 影をやなせる  
われもまた 渚を枕  
ひとり身の 浮寝の旅ぞ

実をとりにて 胸にあつれば  
新たなり 流離の憂い  
海の日 沈むを見れば  
激り落つ 異郷の涙

思いやる 八重の汐々  
いづれの日にか 国に帰らむ

浜辺の歌 林 古溪 作詩

あした浜辺をさまよえば  
昔のことぞしのぼるる  
風の音よ 雲のさまよ  
寄する波も かいの色も  
ゆうべ浜辺をもとおれば  
昔の人ぞしのぼるる  
寄する波よ かえず波よ  
月の色も 星のかげも

## 第Ⅲステージ 暗くて泣きたくなる男声合唱曲集

## 「神田川」

神田川 喜多条 忠 作詞

貴方は もう忘れたかしら  
赤い手拭い マブラーにして  
二人で行った 横丁の風呂屋  
一緒に出ようねって 言ったのに  
いつも私が 待たされた  
洗い髪が 芯まで冷えて  
小さな石鹸 カタカタ鳴った  
貴方は 私の身体を抱いて  
冷たいねって 言ったのよ

若かったあの頃  
何も怖くなかった  
ただ 貴方のやさしさが  
怖かった

貴方は もう捨てたのかしら  
二十四色の クレパス買って  
貴方がかいた 私の似顔絵  
巧くかいてねって 言ったのに  
いつもちつとも 似てないの  
窓の下には 神田川  
三畳一間の 小さな下宿  
貴方は 私の指先見つめ  
悲しいかいつて きたいのよ

若かったあの頃  
何も怖くなかった  
ただ 貴方のやさしさが  
怖かった

学生街の喫茶店 山上路夫 作詞

君とよくこの店に 来たものさ  
訳もなくお茶を飲み 話したよ  
学生でにぎやかな この店の  
片隅で聞いていた ポブ・ディラン  
あの時の歌は 聞こえない  
人の姿も変わったよ  
時は流れた  
あの頃は愛だとは 知らないで  
サヨナラも言わないで 別れたよ  
君と

君とよくこの店に 来たものさ

訳もなくお茶を飲み 話したよ  
窓の外 街路樹が美しい  
ドアを開け 君が来る気がするよ  
あの時は道に 枯葉が  
音もたてずに 舞っていた  
時は流れた  
あの頃は愛だとは 知らないで  
サヨナラも言わないで 別れたよ  
君と

### 五番街のマリーへ

阿久 悠 作詞

五番街へ行ったならば マリーの家へ行き  
どことなくらしめているのか 見て来てほしい  
五番街は 古い街で 昔からの人が  
きつと住んでいると思う たずねてほしい  
マリーという娘と 遠い昔にくらし  
悲しい思いをさせた それだけが 気がかり  
五番街で うわさをきいて もしも嫁に行って  
今がとてもしあわせなら 香らずにほしい

五番街へ行ったならば マリーの家へ行き  
どんな暮ししているのか 見て来てほしい  
五番街で住んだ頃は 長い髪をしてた  
かわいいうマリー今はどうか 知らせてほしい  
マリーという娘と 遠い昔に暮らし  
悲しい思いをさせた それだけが 気がかり  
五番街は近いけれど とても遠いところ  
悪いけれどそんな思い 察してほしい

### 22才の別れ

伊勢 正三 作詞

あなたに 「さようなら」って  
言えるのは 今日だけ  
明日になって またあなたの  
暖かい手に触れたら きつと  
言えなくなってしまう そんな気がして  
私には 鏡に映った  
あなたの姿を 見つけられずに  
私の目の前にあつた  
幸せにすがりついてしまった

私の誕生日に

22本のローソクをたて

ひとつひとつが みんなの  
人生だねって言って 17本目からは  
いっしょに火をつけたのが 昨日のことのように

今はただ5年の月日が  
永すぎた春といえるだけで  
あなたの知らないところへ  
嫁いで行く私にとつて

ひとつだけこんな私のわがまま聞いてくれるなら  
あなたは あなたのままで  
変わらなずにいて下さい  
そのままで・・・

### 遠くへ行きたい

永 六輔 作詞

知らない街を歩いてみたい  
どこか遠くへ行きたい  
知らない海をながめていたい  
どこか遠くへ行きたい

遠い街 遠い海  
夢はるか 一人旅

愛する人とめぐり逢いたい  
どこか遠くへ行きたい

愛し合い 信じ合い  
いつの日か 幸せを

愛する人とめぐり逢いたい  
どこか遠くへ行きたい

I 柳河

もうし、もうし、柳河じや、  
柳河じや。

銅の鳥居を見やしやんせ。  
欄干橋を見やしやんせ。

(馭者は喇叭の音をやめて  
赤い夕日に手をかざす。)

薊の生えた

その家は、・・・

その家は、  
舊いむかしウレカシの遊女屋。  
人も住はぬ遊女屋。

裏のBANKOバンクにゐる人は、・・・  
あれは隣の繼娘。  
水に映つたそのかけは、・・・

そのかけは  
母の形見の小手鞠を、  
小手鞠を、

赤い毛糸でくくるのじや、  
涙片手にくくるのじや。

もうし、もうし、旅のひと、  
旅のひと。

あれ、あの三味をきかしやんせ。  
塙の浮くのを見やしやんせ。  
(馭者は喇叭の音をたてて、  
あかい夕日の街に入る。)

夕焼、小焼、  
明日天氣になあれ。

※BANKO：縁臺、葡萄牙の轉化か。

II 紺屋のおろく

にくいあん畜生は筑前しぼり、  
猫を擁えて夕日の濱を  
知らぬ顔して、しやなしやなど。

にくいあん畜生は筑前しぼり、  
華奢な指さき濃青に染めて、  
金の指輪もちちらと。

にくいあん畜生が薄情な眼つき、  
黒の前掛、毛織子か、セルか、  
博多帯しめ、からころと。

にくいあん畜生と、擁えた猫と、  
赤い入日にふとつまされて  
瀉がたに陥はまつて死ねばよい。ホンニ、ホンニ・・・

III かきつばた

柳河の

古きながれのかきつばた、  
晝はONGOオングの手にかをり、  
夜は萎しぼれて

三味線の

細い吐息といきに泣きあかす。  
(塙クエツクリのあたまに火が點いた、  
潜んだと思ふたらちよいと消えた。)

※ONGO：良家の娘、柳河語

IV 梅雨の晴れ間

廻せ、廻せ、水ぐるま、  
けふの午ひるから忠信ちゆうしんが隈かまどり紅べにいしやつ面に  
足どりかろく、手もかろく

狐きつね六法踏むつぽうみゆかむ花道はなみちの下、水ぐるま・・・

廻せ、廻せ、水ぐるま、  
雨に濡れたる古むしろ、圓天井まげらのその屋根やね根ねに、

青い空透すき、日の光  
七寶しちほうのごときらきらと、化粧部屋けいようべにも笑ふなり。

廻せ、廻せ、水ぐるま、  
梅雨つゆの晴れ間はれまの一日いちにちを、せめて楽しく浮うかれよと  
廻り舞臺まいだいも滑すべるなり、  
水を汲ひみ出だせ、そのしたの葱たまねぎの畑はたけのたまり水。

廻せ、廻せ、水ぐるま、  
だんだんおんだ幕まの黒と赤、すこしかかかかけてなつかしく  
旅たびの女形おんながたもさし覗のぞく、  
水を汲ひみ出だせ、平土間ひらどまの、田舎芝居いんさしげの蜚はな煙たけ。

廻せ、廻せ、水ぐるま、  
はやも午ひるから忠信ちゆうしんが紅べに隈かまとつたしやつ面に  
足どりかろく、手もかろく、  
狐きつね六法踏むつぽうみゆかむ花道はなみちの下、水ぐるま・・・

## アンコール 男声合唱組曲「雨」より

## VI「雨」 作詩 八木重吉 作曲 多田武彦

雨のおとが きこえる  
雨がふっていたのだ。

あのおとのように そっと世のために  
はたらいっているように。

雨があがるように しずかに死んでゆこう。

昨年12月12日、多田武彦先生は享年87歳でお亡くなり  
になりました。この曲に対して、多田武彦先生は、

「私の臨終における鎮魂曲として私の心の奥深く刻み込まれて  
しまった」

と、生前語られました。

改めて多田武彦先生のご冥福をお祈り申し上げるとともに、  
今まで小田原男声合唱団に温かい励ましを与えて下さった感謝  
の気持ちを込め、歌わせていただきます。

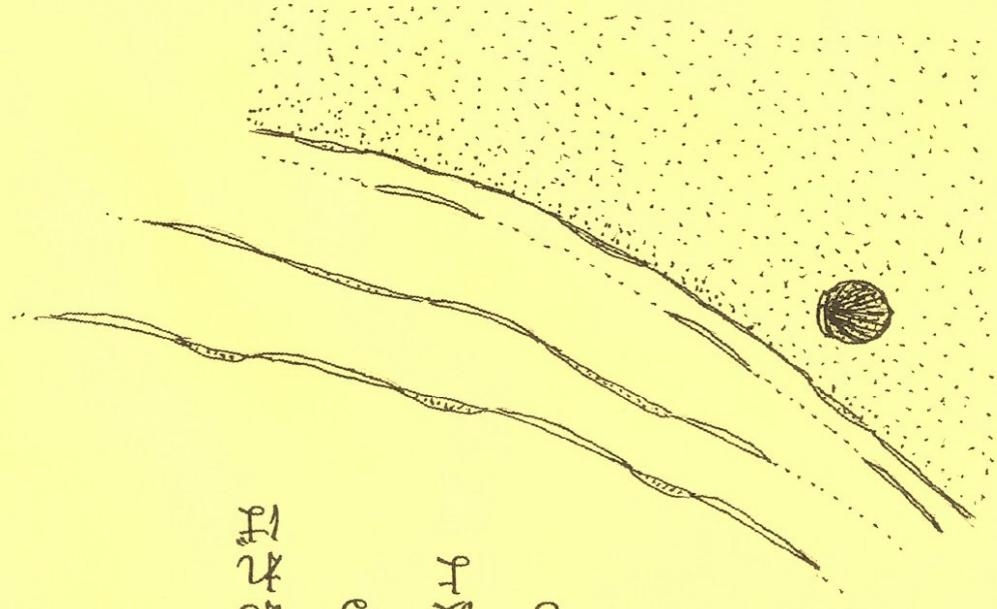
多田武彦先生が小田原男声合唱団のために作曲していただ  
いた男声合唱組曲は以下の4曲です。

男声合唱組曲『西湘の風雅』 作詩 大木惇夫  
2001年 第30回定期演奏会初演

男声合唱組曲『互寒小景』 作詩 北原白秋  
2006年 第35回定期演奏会初演

男声合唱組曲『大木惇夫の詩から四季點綴』 作詩 大木惇夫  
2008年 第37回定期演奏会初演

男声合唱組曲『達治の旅情』 作詩 三好達治  
2011年 第40回定期演奏会初演



二、月の色も星のかけも  
寄する波よかえす波よ  
昔の人ぞしのぼるる  
ゆゑに浜辺をもとおれば

一、寄する波もかいの色も  
風の音よ雲のなまよ  
昔のこゝろしのぼるる  
あしたの浜辺をなまよえは

林古溪作詩 成田為三作曲

## 浜辺の歌